



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 栃木銀行
 コード番号 8550 URL <https://www.tochigibank.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 黒本 淳之介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 大串 美和

TEL 028-633-1241

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,271	8.4	3,454	10.2	1,856	52.2
2020年3月期第3四半期	31,961	1.8	3,135	376.3	1,220	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 11,083百万円 (323.0%) 2020年3月期第3四半期 2,619百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.79	17.71
2020年3月期第3四半期	11.69	11.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,273,832	170,235	5.1
2020年3月期	2,924,722	159,677	5.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 166,323百万円 2020年3月期 153,841百万円

(注) 「自己資本比率」は(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		2.50		2.50	5.00
2021年3月期		2.50			
2021年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	9.3	3,200	27.8	1,600	12.2	15.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	109,608,000 株	2020年3月期	109,608,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,229,315 株	2020年3月期	5,229,126 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	104,378,805 株	2020年3月期3Q	104,353,752 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
4. 四半期決算のポイント	
(1) 損益の状況【連結】【単体】	7
(2) 主要勘定の状況【単体】	8
(3) 健全性の状況	
①自己資本比率【連結】	9
②不良債権の状況【単体】	9
5. 参考情報	
(1) 2021年3月期 第3四半期損益概要【単体】	10
(2) 金融再生法開示債権【単体】	10
(3) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】	11
(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	11
(5) 預金・貸出金の残高【単体】	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)の業績は次のとおりとなりました。

経常収益は、国債等債券売却益の減少等により前年同期比26億90百万円減少し292億71百万円となりました。また経常費用は、不良債権処理費用の減少等により前年同期比30億9百万円減少し258億17百万円となりました。

この結果、経常利益は34億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億56百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、貸出金の増加等により前連結会計年度末比3,491億円増加し、3兆2,738億円となりました。負債は、預金の増加等により前連結会計年度末比3,385億円増加し、3兆1,035億円となりました。また純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比105億円増加の1,702億円となりました。

なお、主要勘定の状況は次のとおりとなりました。

①預金

個人預金の増加等により、預金残高は前連結会計年度末比2,305億円増加し2兆9,399億円となりました。

②貸出金

個人・中小企業向け貸出の増加等により、貸出金残高は前連結会計年度末比317億円増加し1兆9,798億円となりました。

③有価証券

有価証券残高は前連結会計年度末比573億円増加し5,867億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、2020年5月12日に公表した通期の業績予想を上回っておりますが、新型コロナウイルス感染症による影響や与信費用の増加等を考慮し、現時点において業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	383,947	647,088
コールローン及び買入手形	3,696	4,504
商品有価証券	133	53
金銭の信託	1,415	1,183
有価証券	529,368	586,730
貸出金	1,948,143	1,979,877
外国為替	2,422	1,645
その他資産	34,584	37,413
有形固定資産	22,241	21,836
無形固定資産	524	441
繰延税金資産	8,068	3,817
支払承諾見返	3,236	3,239
貸倒引当金	△13,062	△13,999
資産の部合計	2,924,722	3,273,832
負債の部		
預金	2,709,404	2,939,944
譲渡性預金	26,482	23,988
借入金	2,959	120,413
外国為替	30	47
その他負債	18,451	12,574
賞与引当金	888	295
役員賞与引当金	26	19
退職給付に係る負債	2,007	1,531
睡眠預金払戻損失引当金	276	271
偶発損失引当金	222	224
特別法上の引当金	5	6
再評価に係る繰延税金負債	1,052	1,039
支払承諾	3,236	3,239
負債の部合計	2,765,045	3,103,596
純資産の部		
資本金	27,408	27,408
資本剰余金	26,235	28,370
利益剰余金	112,012	113,341
自己株式	△2,346	△2,346
株主資本合計	163,310	166,773
その他有価証券評価差額金	△7,188	1,609
土地再評価差額金	△892	△885
退職給付に係る調整累計額	△1,388	△1,173
その他の包括利益累計額合計	△9,468	△450
新株予約権	107	132
非支配株主持分	5,727	3,778
純資産の部合計	159,677	170,235
負債及び純資産の部合計	2,924,722	3,273,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	31,961	29,271
資金運用収益	20,706	19,897
(うち貸出金利息)	15,645	15,746
(うち有価証券利息配当金)	4,757	3,857
役務取引等収益	5,546	5,669
その他業務収益	3,457	1,146
その他経常収益	2,250	2,557
経常費用	28,826	25,817
資金調達費用	381	325
(うち預金利息)	354	298
役務取引等費用	2,526	2,603
その他業務費用	670	261
営業経費	18,866	18,837
その他経常費用	6,382	3,789
経常利益	3,135	3,454
特別利益	14	67
固定資産処分益	14	67
金融商品取引責任準備金取崩額	0	—
特別損失	213	176
固定資産処分損	9	35
金融商品取引責任準備金繰入額	—	0
減損損失	203	139
税金等調整前四半期純利益	2,935	3,346
法人税、住民税及び事業税	1,427	1,004
法人税等調整額	137	278
法人税等合計	1,564	1,283
四半期純利益	1,371	2,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	206
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,220	1,856

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,371	2,063
その他の包括利益	1,248	9,020
その他有価証券評価差額金	1,183	8,805
退職給付に係る調整額	64	214
四半期包括利益	2,619	11,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,464	10,868
非支配株主に係る四半期包括利益	155	214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴う影響は、当連結会計年度の第3四半期連結会計期間以降、緩やかに収束するものと想定しておりましたが、依然として感染は拡大している状況にあります。

このように状況は長期化しつつあるも、当該感染症へのワクチン接種が国内でも開始される状況にあることを踏まえたうえで、従来の想定を一部変更し、感染拡大状況の緩やかな収束と、経済の緩やかな回復の想定時期を、翌連結会計年度中としております。

当該想定 の範囲内で、貸出先によってその程度は異なるものの、貸出金等の信用リスクに影響があるとの仮定に基づいて、債務者区分を判定し貸倒引当金を計上しております。

また、特定の貸出先において、将来の財務状況に重要な影響を及ぼす可能性が認められることから、当該影響を見積り、予想損失率の必要な修正を行い、貸倒引当金を追加計上しております。

なお、当該感染症の広がり方や収束時期、特定の貸出先に対する影響等に関しては、参考となる前例や統一的な見解がないため、一定の仮定を置いたうえで入手可能な外部情報に基づき、最善の見積りを行っておりますが、仮定の前提となる状況が変化した場合には、当連結会計年度の第4四半期連結会計期間以降において貸倒引当金は増減する可能性があります。

4. 四半期決算のポイント

(1) 損益の状況

【連結】

- ▶ 経常収益は、国債等債券売却益の減少等により前年同期比26億90百万円減少の292億71百万円となりました。
- ▶ 経常費用は、不良債権処理費用及び株式等売却損の減少等により前年同期比30億9百万円減少の258億17百万円となりました。
- ▶ この結果、経常利益は34億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億56百万円となりました。

【連結損益計算書(抜粋)】

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期(A)	2020年3月期 第3四半期(B)	増減 (A)-(B)
経常収益	29,271	31,961	△ 2,690
(内、国債等債券売却益)	89	2,850	△ 2,761
経常費用	25,817	28,826	△ 3,009
(内、不良債権処理費用)	1,959	3,565	△ 1,606
(内、株式等売却損)	154	1,335	△ 1,181
経常利益	3,454	3,135	319
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,856	1,220	636

【単体】

- ▶ コア業務純益は、前年同期比2億81百万円増加の48億31百万円となりました。
- ▶ 業務純益については国債等債券売却益の減少等により前年同期比27億25百万円の減少の39億円、実質業務純益は前年同期比22億44百万円減少の48億23百万円となりました。

【単体損益計算書(抜粋)】

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期(A)	2020年3月期 第3四半期(B)	増減 (A)-(B)
コア業務純益	4,831	4,550	281
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	4,119	3,816	302
業務純益	3,900	6,625	△ 2,725
(内、国債等債券売却益)	89	2,850	△ 2,761
実質業務純益	4,823	7,068	△ 2,244
経常利益	2,777	2,784	△ 6
四半期純利益	1,629	1,132	496

(2) 主要勘定の状況

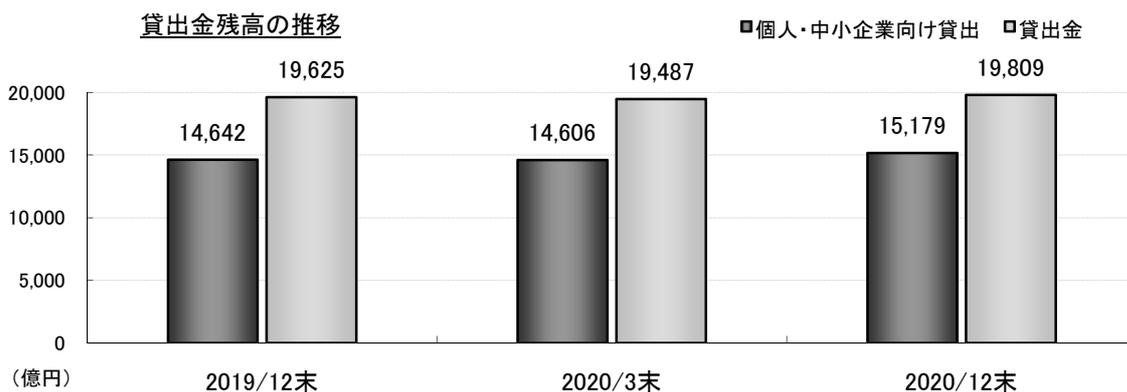
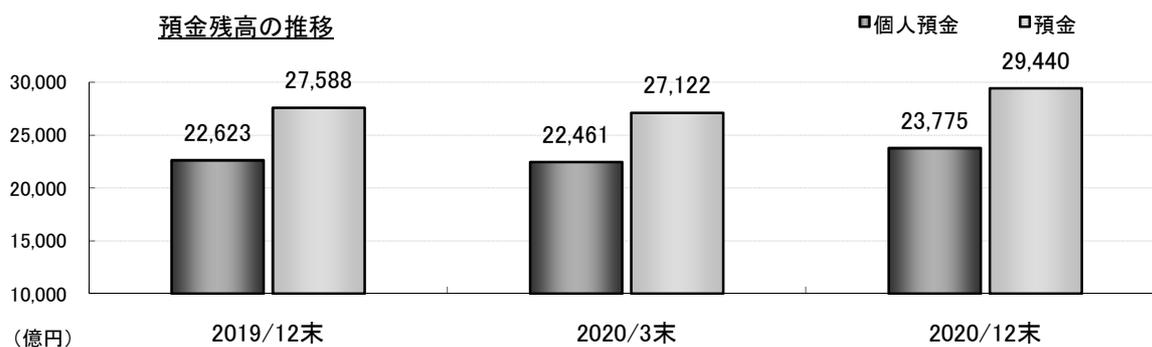
- ▶預金残高は、個人預金の増加等により2020年3月末比2,318億円増加の2兆9,440億円となりました。
- ▶貸出金残高は、個人・中小企業向け貸出の増加等により2020年3月末比322億円増加の1兆9,809億円となりました。

【単体】

(単位：億円)

	2020年12月末 (A)	2020年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
預金	29,440	27,122	2,318
うち個人預金	23,775	22,461	1,314
貸出金	19,809	19,487	322
うち個人・中小企業向け貸出	15,179	14,606	573

(注) 譲渡性預金は含んでおりません。



(3) 健全性の状況

① 自己資本比率【連結】

▶連結自己資本比率は、利益計上等による自己資本の増加とリスクアセットの減少等により、2020年3月末比 0.46ポイント上昇し11.63%となりました。

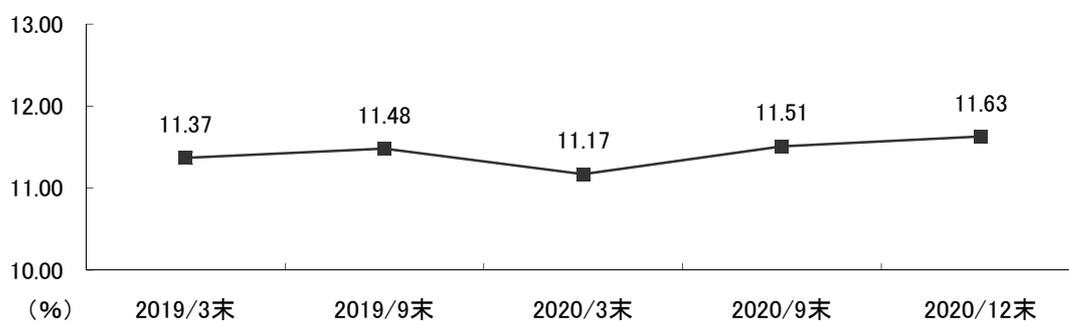
【連結】

(単位：%)

	2020年12月末 (A)	2020年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
連結自己資本比率	11.63	11.17	0.46

自己資本比率の推移

—■— 連結自己資本比率



② 不良債権の状況【単体】

▶金融再生法開示債権は、2020年3月末比9億円増加の457億円となりました。
▶不良債権比率は、2020年3月末比変わらずの2.28%です。

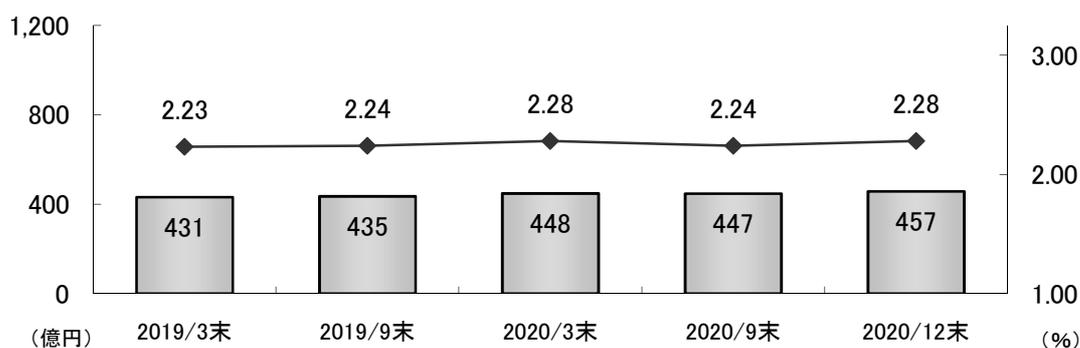
【単体】

(単位：%、億円)

	2020年12月末 (A)	2020年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
不良債権比率	2.28	2.28	0.00
金融再生法開示債権	457	448	9

金融再生法開示債権・比率の推移

■ 金融再生法開示債権 —◆— 不良債権比率



5. 参考情報

(1) 2021年3月期 第3四半期損益概要【単体】

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) (B)	増減 (A)-(B)
業務粗利益	21,968	25,074	△ 3,106
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	21,975	22,556	△ 581
資金利益	19,618	20,352	△ 734
役務取引等利益	2,316	2,365	△ 49
その他業務利益	33	2,355	△ 2,322
経費(除く臨時処理分)	17,144	18,006	△ 862
コア業務純益	4,831	4,550	281
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	4,119	3,816	302
国債等債券損益(5勘定戻)	△ 7	2,518	△ 2,525
実質業務純益	4,823	7,068	△ 2,244
一般貸倒引当金繰入額①	923	442	480
業務純益	3,900	6,625	△ 2,725
臨時損益	△ 1,123	△ 3,841	2,718
不良債権処理額②	919	3,038	△ 2,119
(貸倒償却引当費用①+②)	1,842	3,481	△ 1,638
株式等関係損益	△ 363	△ 1,202	838
株式等償却	280	130	150
経常利益	2,777	2,784	△ 6
特別損益	△ 115	△ 204	88
税引前四半期純利益	2,662	2,579	82
法人税、住民税及び事業税	734	1,333	△ 598
法人税等調整額	298	113	184
法人税等合計	1,032	1,447	△ 414
四半期純利益	1,629	1,132	496

(2) 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	2020年12月末	2019年12月末	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,805	1,524	1,683
危険債権	43,091	40,930	42,470
要管理債権	807	700	741
合計(A)	45,704	43,155	44,896
正常債権	1,952,896	1,932,332	1,918,561
総与信額計(B)	1,998,601	1,975,488	1,963,457
総与信額に占める割合(A/B)	2.28%	2.18%	2.28%

(3) 自己資本比率 (国内基準)

【単体】

(単位: 百万円、%)

	2020年12月末	2020年3月末
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	11.49	11.15
(2) 単体における自己資本の額	167,486	165,376
(3) リスク・アセットの額	1,457,109	1,482,751
(4) 単体総所要自己資本額 (3)×4%	58,284	59,310

【連結】

(単位: 百万円、%)

	2020年12月末	2020年3月末
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	11.63	11.17
(2) 連結における自己資本の額	171,489	167,282
(3) リスク・アセットの額	1,473,520	1,497,376
(4) 連結総所要自己資本額 (3)×4%	58,940	59,895

(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(単位: 百万円)

	2020年12月末		2019年12月末		2020年3月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	581,048	2,232	518,632	5,548	523,434	△ 10,421
株式	9,034	1,132	11,228	1,963	8,809	264
債券	272,104	△ 731	233,414	467	256,008	△ 768
その他	299,909	1,831	273,989	3,117	258,616	△ 9,917

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	2020年12月末		2019年12月末		2020年3月末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—

(5) 預金・貸出金の残高【単体】

(単位: 百万円)

	2020年12月末	2019年12月末	2020年3月末
預金	2,944,059	2,758,811	2,712,273
うち個人預金	2,377,548	2,262,350	2,246,145
貸出金	1,980,956	1,962,562	1,948,753
うち住宅ローン	581,983	566,295	570,793

(注) 譲渡性預金は含んでおりません。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

経営企画部 大串・齋藤・岩本 TEL 028-633-1455